

平成28年度 第2回学校評議員会

平成29年1月18日（水）

1 開会 9：30

2 校長挨拶

3 報告 9：35～11：00

(1) 平成28年度学校経営の総括について

○平成28年度学校経営計画について

- ① ニーズに応える教育
- ② 健康と安全の保持
- ③ 希望進路の実現
- ④ 特別支援教育のセンター的機能の充実
- ⑤ 開かれた学校づくり
- ⑥ 特色ある学校づくり
- ⑦ 復興教育の取組
- ⑧ 教職員の資質向上、多忙化解消の取組

○今年度の学校の様子について

- ① 児童生徒の活躍・健闘
- ② 安全管理体制の整備
- ③ キャリア教育の推進
- ④ 学校間交流、交流籍を活用した居住地校交流及び共同学習等の実施
- ⑤ 特別支援教育のセンター的機能の充実
- ⑥ その他

(2) 平成28年度各学部経営の総括及び進路希望状況について

(3) 平成28年度学校評価集計結果について

(4) その他

4 ご提言 11：00～11：30

○ A 様

今年一年、宮古恵風支援学校とよい交流をさせていただいている。小学校から中学校まで9年間の交流は大きく、本校の生徒にとっても非常にプラスになっている。宮古恵風支援学校の運動会や学習発表会など行事にも参加してきた。学習発表会などでは、生徒一人一人に合わせて先生方が考えて取り組んだり、よく見て対応したりすることに、非常に感心させられた。これからも、宮古恵風支援学校の行事を楽しみにしている。

○ B 様

昨年から、先生方が一生懸命取り組んでいると感じていた。一生懸命取り組んでいるため、多忙と感じる部分もあるかもしれない。学校評価において関係機関との連携の評価が、去年より若干下がっている。学園の職員に確認したところ、行事や宿泊学習のときに持ち物の連絡がなかったり、遅かったりすることがあるようだ。毎月の行事連絡会などいろいろな場で、緊密に情報交換をしたいと思う。学園として、今後も連携に向けて取り組んでいきたい。

○ C 様

教室の不足は今年に限ったことではないということだが、適切な支援のために教室の確保が必要なのか、生徒数に対する教室の不足なのかを聞きたい。ハード面の改善は難しいことなので、現在ある建物の中で工夫をしてほしい。先生方がいろいろ工夫して取り組んでいることは、お便りや学校評価アンケート等でも理解することができた。相談支援事業所として、進路に限らず、進路にかかわらない部分でも協力していきたい。

○ D 様

何点かの課題を確認したい。一つは、スクールバスの問題である。通学生が多くなっているが、通学にスクールバスを利用できないのは疑問に思う。義務教育の間でもあるので、例えば田老、新里川井、山田や津軽石赤前方面へのタクシー借り上げ等で対応できないものなのか。今後の方向性を教えてほしい。

次に特別支援教育のセンター的機能について。相談支援件数が昨年379件から今年度179件に減っている。来年度、学校に入る子ども達は、震災の年の子ども達である。症状として出てくる年代であるため、この機能はこれから期待される分野である。どのように充実させていくのかが課題ではないか。